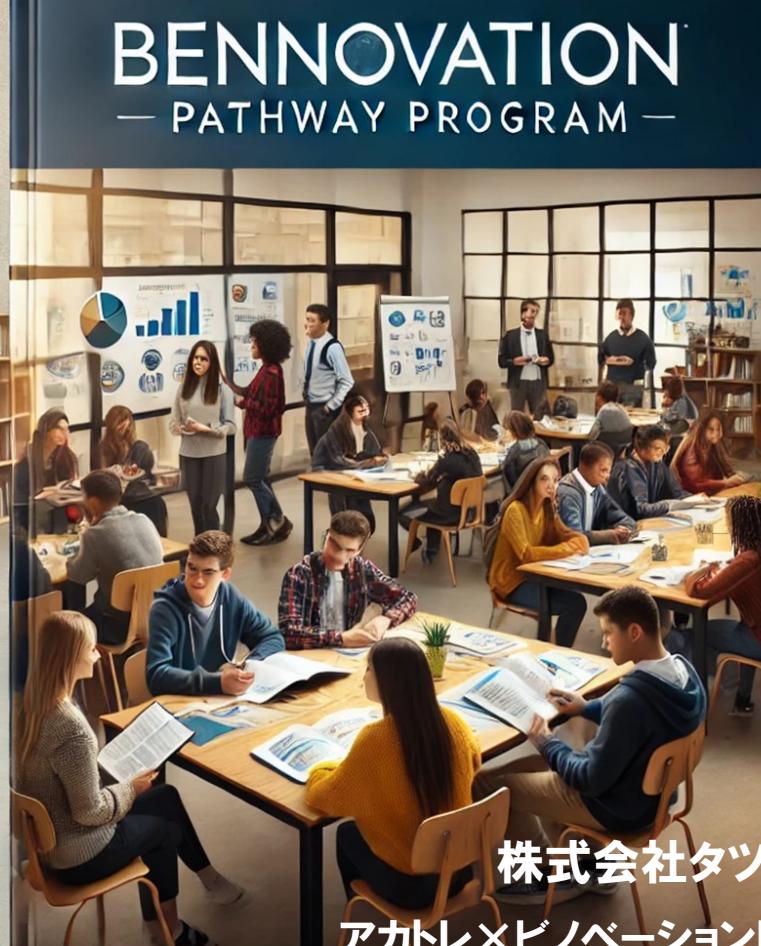


# ビノベーション・パスウェイ・プログラム

リーダーシップの学びからキャリア形成まで、  
生徒一人ひとりの「成長の道筋」を作るプログラム



株式会社タツミヤインターナショナル  
アカトレ×ビノベーションレポート By  Brighten Consulting

# **Bennovation Pathway Programについて**

**Bennovation Pathway Program**は、高校生と教師を対象にした**3部構成**の教育プログラムです。プログラムを通じて、生徒は「**自分を知る**」ことから始まり、「**リーダーシップを発揮する**」ことを経験し、最終的に「**未来を見据えた進路選択**」に至るまでの**成長の道筋**をたどります。また、**教師が**その成長をサポートするための**具体的な手法を学ぶ**ことで学級全体の質的向上を実現します。

## **1. ピノベーション・リーダーシップ研修**

### **自分を知る（自己理解）**

- ・ピノベーションリーダーシップ研修を通じて、自分の行動特性、強み、リーダーシップスタイルを明確化します。
- ・生徒は「自分が何を得意とし、どのように貢献できるか」を理解し、自信を持って行動する土台を築きます。

### **行動し、学びを共有する（実践と協働）**

- ・クラス全体でシェアドリーダーシップを実践し、それぞれの役割を共有しながらチームとしての成長を体験します。
- ・教師からのフィードバックを受けながら、自分のリーダーシップがチームやクラスにどのように影響を与えるかを学びます。

## **2. 教師向けワークショップ**

### **学びを深める（教師との連携）**

- ・教師向けワークショップでは、生徒の特性を正しく理解し、学級経営に活用する方法を学びます。
- ・教師がサポート役となることで、生徒一人ひとりが安心して成長できる環境が整います。

## **3. キャリア・ピノベーション研修**

### **未来を見据える（キャリアビジョンの形成）**

- ・キャリア・ピノベーション研修では、自己理解をさらに深め、社会でどのように活躍できるかを考えます。
- ・生徒は自分に適した職種や働き方を具体的にイメージし、進路選択に活かします。

# ビノベーション・リーダーシップ研修の目的

ビノベーション・リーダーシップ研修は、高校生が自らの強みを発見し、クラスという小さな社会の中で**実践的にリーダーシップを発揮**するための特別なプログラムです。

この研修では、心理アセスメント「ビノベーション®レポート※」を通じて生徒一人ひとりの行動特性を明らかにし、ダニエル・ゴールマンの6つのリーダーシップスタイルの中から**自分に合ったスタイルを選択**することで**自分らしいリーダー像**を描きます。

クラスを「組織」と見立て、関係の質、思考の質、行動の質、そして最終的な結果の質を向上させることを目指すこの研修は単なるリーダーシップの学びにとどまりません。仲間と協力し互いを理解し合うことで、**チームとしての成長を実感**する経験は生徒たちがこれから進む**人生での大きな財産**となります。

さらに、このワークショップは生徒自身が**主体的に考え行動する機会を提供**します。**一人ひとりが役割を持ちクラスの成功に貢献する**というプロセスを通じて、責任感や達成感を学び**未来への自信を育む**ことができます。

このような体験は、社会に出た際に必要とされる「**チームで成果を生み出す力**」を育成するだけではなく、生徒たちが持つ**潜在能力を最大限に引き出します**。

ビノベーション・リーダーシップ研修は、生徒たちにとって探求学習の一環でありながら**未来を切り拓く力を養う**第一歩となるでしょう。

このプログラムを通じて、クラス全体が一つのチームとなり、**一人ひとりの可能性が輝き始める**瞬間を体感してください。



# ビノベーション・リーダーシップ研修の概要

心理アセスメント「ビノベーション®レポート」によって**生徒一人ひとりの行動特性を可視化**し、自己認識を深めるとともに、先生が**生徒をより深く理解**できるようサポートします。さらに、シェアドリーダーシップの考え方を基に、ダニエル・ゴールマンの「6つのリーダーシップスタイル」を活用することで、導入が容易かつ実践的な学びを提供します。このアプローチにより**生徒同士や先生との関係性の質が向上**し、**クラス全体が協力的で調和のとれたチームへと進化**します。



## ビノベーション・リーダーシップ研修を導入する3つのメリット

### 1.いじめやトラブルの予防

生徒同士がお互いを理解し合い信頼し合う環境を作ることで、いじめやトラブルを未然に防ぎます。

### 2.多様性の受容と活用

外国籍や特別支援を必要とする生徒を含め、全員の特性を活かした役割分担によりクラス全体が一つのチームとして機能します。

### 3.学級経営の負担軽減

生徒が主体的に動ける環境が整うことで教師の負担が軽減し、指導やサポートにより多くの時間がさけるようになります。

## 【進め方】

### 1. ビノベーションレポートを受検



### 2. 研修開催 時間:60~90分 グループワーク形式



自己理解(行動の癖、モチベ、ストレス)

↓  
12のコアリーダーシップ(社会人基礎力)

×  
6つのリーダーシップスタイル

↓  
自分らしいリーダーシップ発見！

↓  
クラス内でシェア(関係の質向上)

### 3. 先生へ詳細フィードバック

チームビノグラム提供

↓  
クラスの特性を解説

↓  
教師の特性と比較

↓  
Communication Update

↓  
学級経営をアップデート

# 教師向けワークショップの概要

## ワークショップの目的

このワークショップは、教師が自身と生徒の行動特性や心理特性をデータをもとに深く理解し、学級経営や指導の質を向上させることを目的としています。特に、ビノベーションレポートを活用し、**教師としての自己理解と生徒への効果的なアプローチ方法**を学びます。



## ビノベーション・リーダーシップ研修を導入する5つのメリット

### 1. 自己理解の深化

自分自身の**行動特性を客観的に把握**でき、**ストレス管理やモチベーション向上のヒント**が得られる。

### 2. 教師間のコミュニケーション向上

他の教師との**特性の違いを理解**し、チーム内での**役割分担や連携が明確になり**よりスムーズな協力体制を築ける。

### 3. 生徒への指導力向上

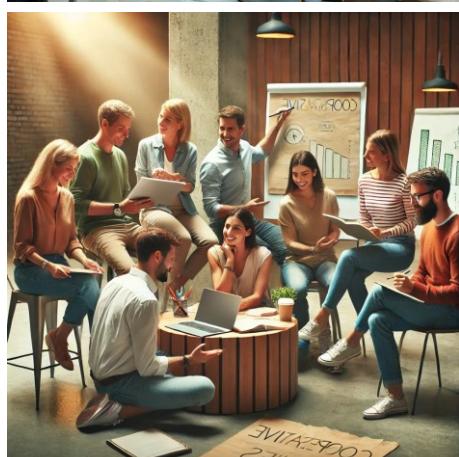
**生徒特有の行動や心理特性を理解**することで、**適切な接し方や指導方法**がわかる。

### 4. 学級経営の質的向上

学級全体の特性を把握することで、**インタラクティブで効果的な授業形態を設計**できる。

### 5. メンタルケアと個別支援の強化

生徒の特性がデータ化されることで**個別の生徒の課題を他の教師に相談しやすくなり**、学校全体での**支援体制が強化**される。



# キャリア・ビノベーション研修の概要

キャリア・ビノベーション研修は、高校生が自己理解を深め、**自身の社会人基礎力やストレス特性を基に適職を探求**するプログラムです。この研修では厚生労働省の職業分類を元に、経済産業省が定めた12の社会人基礎力を活用し、**各職業に必要なスキルや責任を具体的にイメージ**します。研修を通じて、参加者は**興味のある職業に求められる力や直面するストレスを理解**し、自身の将来に向けた具体的なステップを明確化します。



## キャリア・ビノベーション研修を導入する5つのメリット

### 1. 自己理解の向上

自分の**社会人基礎力やストレス特性を可視化**することで、自己理解が深まり適職選択に役立つ。

### 2. 職業選択の具体性

適職度をスコア化することで、漠然とした職業選択ではなく、**数値的な根拠に基づいた明確な選択**が可能。

### 3. 目標達成への具体的な道筋

興味のある職業が求める能力や特性を知ることで、将来に向けた**実践的なキャリア形成**を支援。

### 4. ストレス耐性を考慮した適職選択

職業ごとのストレス要因を理解し、**自分のストレス耐性に合った職業を選ぶ**ことで、長期的なキャリアの安定性を確保。

### 5. 総合的な職業理解

単なる職業の表面的な理解にとどまらず、**責任感や働き方のリアルなイメージ**を通じて、**より深い職業理解**を得られる。



# **APPENDIX**

# 社会人基礎力を生徒が理解できる平易な言葉に変更

ビノベーション・リーダーシップ研修で社会人基礎力を活用することは、生徒一人ひとりが**自分の強みを知り、それをクラスでの役割に活かす**だけでなく、**自分のキャリアを考えるきっかけを作る**ために非常に効果的です。

ビノベーションレポートの社会人基礎力には下記の12の特性が1000点満点でスコア化されます。優劣ではなく、出やすい行動は高く、出にくいスコアは低く出ます。

比較的**出やすい行動をコア・リーダーシップに選択**し具体的な行動を考えます。

## 【社会人基礎力】※中高生向け表現に変更

**前に踏み出す力（アクション）**：自ら進んで行動し、失敗しても粘り強く取り組む力。  
・**主体性**：例えば、文化祭の企画で自分からアイデアを提案し、実現に向けて動くこと。  
・**働きかけ力**：クラスメイトに声をかけて一緒にプロジェクトを進めるよう促すこと。  
・**実行力**：決めた目標に向かって計画を立て、最後までやり遂げること。

**考え抜く力（シンキング）**：疑問を持ち、深く考えて解決策を見つける力。  
・**課題発見力**：学級運営での問題点を見つけ出し、改善策を考えること。  
・**計画力**：テスト勉強のスケジュールを立て、効率的に学習を進めること。  
・**創造力**：新しいクラブ活動を提案し、実際に立ち上げること。

**チームで働く力（チームワーク）**：多様な人々と協力して目標を達成する力。  
・**発信力**：自分の意見やアイデアをクラス全員にわかりやすく伝えること。  
・**傾聴力**：友達や先生の話をしっかりと聞き、理解すること。  
・**柔軟性**：他人の意見を受け入れ、自分の考えを適切に修正すること。  
・**状況把握力**：クラスの雰囲気やメンバーの状態を察知し、適切に対応すること。  
・**規律性**：学校のルールや時間を守り、責任ある行動をとること。  
・**ストレスコントロール力**：試験前の緊張や部活動でのプレッシャーをうまく管理すること。

# 6つのリーダーシップスタイル

私たちは、中高生がリーダーシップを自然に理解し、自分の役割を前向きに受け入れられるよう、6つのリーダーシップスタイルの表現をわかりやすく親しみやすいものに変更しました。これは、学術的な表現をそのまま使うよりも、生徒たちが「自分にもできる！」と感じられるよう工夫した結果です。



## 1. 方向指示役(強制型)

- ・明確な指示を出し、チームの方向性を定める。
- ・決断力があり、迷いなくチームを引っ張る。
- ・緊急時や混乱した状況で特に力を発揮する。

例：この目標に向かって、これを優先的に進めよう！



## 4. 話し合い役（民主型）

- ・チームメンバーの意見を尊重し、意思決定に反映させる。
- ・全員が発言しやすい環境を作り、話し合いを通じて方向性を決める。
- ・協力的なチームワークを促進する。

例：みんなの考えを聞いて、一番良い方法と一緒に考えよう。



## 2. みんなのガイド役(ビジョン型)

- ・チーム全体の未来の方向性を示し、共通の目標に向かわせる。
- ・個々の意見を尊重しながら、チームが目指すべきビジョンを描く。
- ・未来志向で、大局的な視点を持つ。

例：私たちの目標は〇〇だから、それに向かってそれぞれが活躍できるように進めよう。



## 5. 先頭行動役(ペースセッター型)

- ・言葉よりも行動でチームを引っ張る。
- ・高い基準を設定し、自ら率先して動くことでチームの士気を高める。
- ・スピード感を持ってタスクを進める。

例：まずは私がやってみるから、みんなも続いてやってみよう！



## 3. 心の支え役(人間関係重視型)

- ・チームのメンバーの感情に寄り添い、安心感を与える。
- ・良好な人間関係を築き、チームの結束を強める。
- ・メンバーの心のケアに力を入れ、ストレスを軽減する。

例：大丈夫、困ったことがあったらいつでも相談してね。



## 6. サポート役(コーチ型)

- ・個々のメンバーの成長を支援し、能力を引き出す。
- ・長期的な視点で、チームメンバーのスキルアップを促す。
- ・メンバーに寄り添いながら、適切なアドバイスを提供する。

例：君の強みをもっと活かせるように、一緒に考えていく。

# キャリア・ビノベーション研修活用ツール①

## 適職診断シート

順位	適職スコア	職種	求められる力	重要な社会人基礎力	スコア	平均点	興味係数	ストレスを受ける環境	ストレス耐性	スコア	
管理的職業	経営管理職	事業部長	経営課題を見つけ、解決策を実行に移し、社員に明確に伝える発信力が求められる。	1 課題発見			部下への指示や迅速な意思決定を行い、企業の成果を求める。	発動 人に指示をする 発動 即断即決が求められる 発動 成果を求められる			
				2 実行							
				3 発信							
	行政管理職	企画役員	部門を統括し、計画を立案・遂行する力、部下を動かす働きかけ力が必要。	1 働きかけ			部門の目標達成に対する責任が大きく、競争環境や結果重視の圧力がかかる。	発動 人に指示をする 発動 厳しい目標や競争 発動 成果を求められる			
				2 計画							
				3 発信							
	企業役員	医師	社会的責任を伴う仕事で状況を適切に把握し、規律を持って行動し、周囲を巻き込む力が必要。	1 状況把握			行政全体をまとめ、調整役を果たすため、協調と成果達成のプレッシャーが大きい。	発動 人に指示をする 抑制 協調が求められる 発動 成果を求められる			
				2 規律的行動							
				3 働きかけ							
専門的・技術的職業	弁護士	研究者	エンジニア	教員	IT技術者	建築士	患者の状態を把握し、適切な治療を迅速に行う能力、慎重な判断力が必要。	1 課題発見 2 発信 3 倾聴	患者対応で迅速な判断と高い成果を求められつつ、慎重な治療計画が必要。	発動 即断即決が求められる 発動 成果を求められる 抑制 思慮深さが求められる	
	研究者	エンジニア	教員	IT技術者	建築士	建設設計には新しいアイデアを生み出す力、計画を遂行する力、法規を守る規律性が必要。	1 課題発見 2 発信 3 倾聴	顧客対応や裁判業務で競争が激しく、成功に向けた精緻な準備が必要でプレッシャーがかかる。	発動 厳しい目標や競争 発動 成果を求められる 抑制 思慮深さが求められる		
	研究者	エンジニア	教員	IT技術者	建築士	システムトラブルを解決する力と、全体の状況を把握する能力が求められる。	1 課題発見 2 実行 3 柔軟	未知の分野を探求し、結果が出なくても努力を継続することがストレスとなりやすい。	発動 前例がない事への挑戦 抑制 努力が求められる 抑制 思慮深さが求められる		
	研究者	エンジニア	教員	IT技術者	建築士	建設設計には新しいアイデアを生み出す力、計画を遂行する力、法規を守る規律性が必要。	1 発信 2 働きかけ 3 状況把握	生徒・保護者・同僚との調整で協調が求められるほか、教育目標の達成やクラス運営のプレッシャーがかかる。	抑制 協調が求められる 発動 厳しい目標や競争 発動 人に指示をする		
	研究者	エンジニア	教員	IT技術者	建築士	建設設計には新しいアイデアを生み出す力、計画を遂行する力、法規を守る規律性が必要。	1 実行 2 課題発見 3 状況把握	システムトラブル対応で迅速な判断が必要、新技術の導入や確実な結果を求める。	発動 即断即決が求められる 発動 成果を求められる 発動 前例がない事への挑戦		
	研究者	エンジニア	教員	IT技術者	建築士	建設設計には新しいアイデアを生み出す力、計画を遂行する力、法規を守る規律性が必要。	1 創造 2 計画 3 規律的行動	設計において新しいアイデアを提案しつつ、クライアントの要望を満たし、安全性を考慮する必要があるため。	発動 前例がない事への挑戦 発動 成果を求められる 抑制 思慮深さが求められる		

# キャリア・ピノベーション研修活用ツール②

## 社会人基礎力レポート



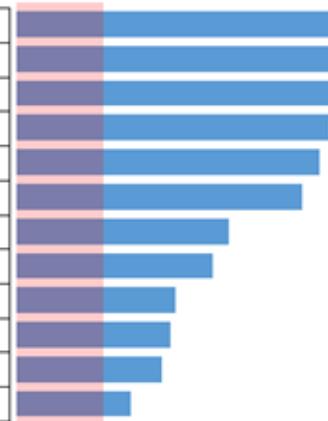
		コンピテンシー	例え
前に踏み出すための資質	主体的行動	物事に進んで取り組もうとする資質	700
	働きかけ	他人に働きかけ巻き込もうとする資質	668
	実行	目的を設定し確実に実行しようとする資質	597
考え方の資質	課題発見	現状を分析し目的や課題を明らかにしようとする資質	492
	計画	課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備しようとする資質	417
	創造	新しい価値を生み出そうとする資質	610
チームで働くための資質	発信	自分の意見をわかりやすく伝えようとする資質	647
	傾聴	相手の意見を丁寧に聞こうとする資質	435
	柔軟	意見の違いや立場の違いを理解しようとする資質	410
	状況把握	自分と周囲の人々や物事との関係性を理解しようとする資質	430
	規律的行動	社会のルールや人の約束を守ろうとする資質	345
	ストレスコントロール	ストレスの発生源に対応しようとする資質	595
誠実さのための資質	責任的行動	自分に与えられた目的から逃げ出さずに取り組もうとする資質	477
	勤勉的行動	人が見ていなくても怠けず、細部まで手を抜かず一生懸命に励もうとする資質	553
	自己統制	受け身にならず、自律的に目標管理して行動しようとする資質	575
	完遂	最後まで投げ出さず、あきらめずにやり遂げようとする資質	477

# キャリア・ピノベーション研修活用ツール③

## ストレス特性レポート



対周囲	発動	自分自身で判断をする	自己尊重・自信・多考・野心・攻撃	727
対自己	発動	前例がない事への挑戦	進取・大らか・楽観・自己尊重・自信	722
対自己	発動	成果を求められる	自信・楽観・変化・野心・率先	717
対周囲	発動	人に指示をする	自信・野心・攻撃・自己尊重・外向	687
対周囲	発動	厳しい目標や競争	自信・大らか・楽観・野心・攻撃	667
対自己	発動	即断即決が求められる	率先・変化・少考・自信・大らか・楽観	627
対周囲	抑制	協調が求められる	寛容・無警戒・群居性・外向・謙虚・不惑	467
対自己	抑制	思慮深さが求められる	多考・持続・自責・繊細	430
対自己	抑制	努力を求められる	謙虚・持続・現実・気長・寛容	347
対周囲	抑制	周囲との衝突を避ける	謙虚・寛容・現実・気長	337
対周囲	抑制	人からの指示を受ける	群居性・謙虚・寛容・踏襲・無警戒・現実	317
対自己	抑制	マニュアル通りに進める	群居性・踏襲・繊細・自責・多考・現実	250



↑ ストレスを感じにくい  
高低差 477 \*\*\*  
↓ ストレスを感じやすい

# なぜ、社会人基礎力なのか

ビノベーション・リーダーシップ研修で社会人基礎力を活用することは、生徒一人ひとりが自分の強みを知り、それをクラスでの役割に活かすだけでなく、自分のキャリアを考えるきっかけを作るために非常に効果的です。

## 1. 自分の強みを明確にできる

社会人基礎力の中身を理解することで、自分がどの項目に強みを持っているかを具体的に知ることができます。

**メリット:** 「自分にはこんな力があるんだ」と気づくことで、自己理解が深まり、自信を持つきっかけになります。

## 2. チームでの役割が見つけやすい

自分の社会人基礎力に基づいて役割を設定することで、チームでどう貢献すれば良いかが明確になります。

**メリット:** 自分の特性を活かした役割を果たすことで、チームの一員としての自覚が芽生え、責任感が高まります。

## 3. キャリアを考えるきっかけになる

社会人基礎力を学ぶことで、社会で求められる力を具体的に理解し、自分の未来について考えるヒントを得られます。

**メリット:** 「将来どんな職業に向いているのか」や「どういうスキルを伸ばすべきか」を考えるきっかけになります。

## 4. 学校生活と将来の架け橋になる

社会人基礎力は学校生活で実践しやすい内容でありながら、そのまま社会でのスキルにも直結します。

**メリット:** 日々の学校生活を「将来に繋がる訓練」として捉えることができ、学びのモチベーションが向上します。

## 5. 全員が「活躍できる場」を得られる

社会人基礎力の項目は幅広いため、どんな特性の生徒にも活躍できる場が提供されます。

**メリット:** 一人ひとりの個性を尊重しながら、全員がクラスや社会で必要とされる存在として成長できます。

### 社会人基礎力とは

経済産業省が提唱する「職場や社会で自立的に活躍するために必要な力」で、以下の3つの能力群から成り立っています。

1. 前に踏み出す力（アクション）：主体性、働きかけ力、実行力

2. 考え抜く力（シンキング）：課題発見力、計画力、創造力

3. チームで働く力（チームワーク）：発信力、傾聴力、柔軟性、状況把握力、規律性、ストレスコントロール力

これらは学校生活や日常でも活用できる力であり、さらに社会で必要とされるスキルの基盤となっています。

